

令和7年度日本語教師のための地域日本語教育研修 実施要領

1 目的

地域日本語教育の日本語教師には、国籍、在留資格、日本語習得レベルなどが異なる様々な外国人を対象に同時に授業をすることや、外国人が地域との関わりを持つことができるよう「生活者としての外国人」の特性を理解した上で指導に当たらなければならないことなど、高い専門性が求められている。

こうしたことから、下記7の対象者を対象として本研修を実施することにより、地域日本語教育に携わる日本語教師としての技能向上及び人材養成を図り、もって本県の地域日本語教育の質の向上を目指すことを本事業の目的とする。

2 主催及び共催

主催 長野県（県民政策課多文化共生係）

共催 公益財団法人長野県国際化協会

3 期待できる効果

養成した日本語教師には、次の場面での活躍が期待される。

- ・県が取り組むモデル地域日本語教室における日本語教師としての参加
- ・県内の人材連携型教室における日本語教師としての参加
- ・県オンライン日本語教室における日本語教師としての参加

なお、本研修は地域日本語教育の場において「生活者としての外国人」を対象とした日本語教育の特性等を扱うものであり、日本語教師の養成段階にあたる基礎知識や教授法について学ぶための研修ではない。

参考 人材連携型教室

「日本語教育人材（コーディネーター、日本語教師、日本語交流員）が連携した学習機会」と「地域社会とのつながり」を提供できる教室。行政が関与し、地域住民と連携することで、外国人学習者を取り巻く多様な関係者、関係機関とのハブとなる存在を目指す。以下、「人材連携型教室」という。

また、県からの人材派遣支援を受けて市町村が実施する人材連携型教室を「モデル地域日本語教室」という。

4 時間・回数

(1) オンライン講座

3時間×6回

中間報告会1時間×1回

(2) 実践活動

45～60分（時間は協力教室と相談の上、決定する）

5 場所

(1) オンライン講座

オンライン会議システム (Zoom)

(2) 実践活動

県モデル地域日本語教室又は地域日本語教室へ訪問して実施

6 受講料

無料

7 対象者

長野県内に在住、在勤又は在学している以下の①から④の要件のすべてを満たす者

① 以下のいずれかの要件を満たす者

- ・大学又は大学院の日本語教師養成課程修了
- ・日本語教師養成講座修了 (420 時間以上)
- ・日本語教育能力検定試験合格
- ・登録日本語教員

② 日本語教育現場での一定の実務経験を有する者

クラス形式の日本語教育現場 (日本語教育機関、地域日本語教室等)、において 3 か月程度以上の経験を有すること (有償・無償不問)。その際、教育実習や研修等での経験は除く。

③ 県内の地域日本語教育の活性化に寄与する意志を持つ者

④ コンピューター (カメラ、マイクあり) とインターネット環境があり、Zoom で参加ができる者 (スマートフォンは不可)

8 定員

上記要件を満たした 10 名程度

なお、受講者の決定にあたっては、書類選考を実施することとし、選考にあたっては別途選考要領を制定する。申込者が 10 人以下の場合についても書類選考を実施する。

また、北信・東信・中信・南信の各地域で、可能な限り最低 2 名を受け入れることとする。(トレーナーが受け持ち可能な人数を考慮)

9 受講申込み

期 限 8 月 24 日 (日) 23 : 59 まで

方 法 以下 URL の申込フォーム (Microsoft Forms) による

<https://forms.office.com/r/fwPjSFhgAT>

10 実施日時、カリキュラム及び講師等

令和 7 年 9 月から 2 月まで

カリキュラム及び講師等の詳細は別紙のとおり

11 トレーナー

長野県地域日本語教育コーディネーターが受講者のトレーナーを務める。

トレーナーは受講者への助言及び実践活動の調整にあたる。

12 修了要件

修了要件は以下のすべてを満たす者とする。

- ・原則として、すべての講座及び実践活動をリアルタイムかつ優良な態度で終えること。
なお、やむを得ず欠席する場合は、オンライン講座2回まで課題に代えることができる
こととする。
- ・トレーナーにおいて修了するに望ましいと判断されること。
- ・レポート及び教案を別途定める期日までに提出すること。

13 その他

- ・オンライン講座への出席に係る費用（端末代、使用料等）及び実践活動に係る旅費等、
本研修の参加に伴い発生する費用は受講者が負担することとする。
- ・受講希望者は、申込むことで事務局による研修の様子の撮影（動画又は写真、受講者の
顔や声がわかるもの）及び事業報告等のために公開する可能性があることを了承してい
るものとみなす。
- ・修了者は、モデル地域日本語教室や県が設置運営する日本語教室等の日本語教師公募の
際、選考において加点することとする。
- ・修了者は「しんしゅう日本語教育等人材バンク」へ登録し、その際本研修の修了者であ
ることを明示することとするとともに、県公式ホームページ上で公開する。
- ・受講者情報及び修了者情報は、長野県及び（公財）長野県国際化協会で共有する。
- ・使用するアプリケーションとして、Zoom、google ワークスペース等を予定している。

(1) オンライン講座

日 時		テーマ	講師等（敬称略）
1	9月7日（日）	午後3時30分 から 午後6時30分 まで （3時間）	「生活者としての外国人」に対する日本語教育について 武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科 教授 神吉 宇一
			長野県の現状について 長野県が目指す体制について 長野県地域日本語教育の体制づくり事業 総括コーディネーター 岡宮 美樹
2	9月20日（土）	午後2時から 午後5時まで （3時間）	・オンラインと対面の特性について 武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科 准教授 藤本 かおる
3	9月27日（土）		参照枠、生活 can-do について 島根大学グローバル化推進本部外国語教育センター 准教授 佐藤 智照
4	10月4日（土）		ニーズ分析の事例、コースデザインの理解、レベルチェックについて 長野県地域日本語教育の体制づくり事業 総括コーディネーター 岡宮 美樹 地域日本語教育コーディネーター 岩崎 容子 一氏 隼人 大澤 志那子
5	10月18日（土）	実践活動1の共有 教室活動の計画 長野県地域日本語教育の体制づくり事業	

			(実践2に向けて)	総括コーディネーター 岡宮 美樹
6	12月6日(土)	午後2時から 午後3時まで (1時間)	実践活動中間報告&おしゃべり会	地域日本語教育コーディネーター 岩崎 容子
7	2月7日(土)	午後2時から 午後5時まで (3時間)	活動実践の振り返り まとめ	一氏 隼人 大澤 志那子

(2) 実践活動

	期間		活動内容	その他
1	9月8日(月) から 10月17日(金) まで	2カ所以上 (計3時間程度)	地域日本語教室の見学又は参加	・対面、オンラインそれぞれ1回以上。 ・受講者が所属していない教室での見学とする。 ・協力教室以外は受講者がアポを取って行くこと。
2	11月1日(土) から 2月1日(日) まで	計2回 (1回45～60分)	モデル地域日本語教室又は協力教室での実践	・対面又はオンライン。 ・受講者が所属していない教室での実践とする。 ・時間は協力教室と相談のうえ決定する。